※令和４年度以降入学生用

学校番号	1203

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「地理総合」　（東京書籍）						
副教材等	「標準高等地図」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代世界が抱えている諸課題を地理的に考察する学習では、たくさんの情報の中から的確な資料を取捨選択し、それらを読み解く力が必要です。

各地域により異なる課題の解決には、地域性を踏まえて取り組むとともに、国を越えての国際協力がますます必要です。授業以外でも、ニュースを聞く、新聞を読む、ドキュメンタリーを見ることを通して情報として蓄積していく努力もしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・地理的諸事象に関して、地図や地理情報システムを用いながら、体系的かつ多面的・多角的に理解することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養う。
【学びに向かう力、人間性】
・地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ・地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	・地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ・考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	・知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。 ・地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などが深まっている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、 それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	私たちが暮らす世界	○世界各地における，太陽高度や昼夜の時間の季節変化と，標準時を確認し，緯度や経度との関係について考える。 ○時差を利用したグローバルな活動の例を把握する。 ○地球儀上で方位や距離を計測し，さまざまな世界地図での描かれ方と比較することで，世界地図の特徴を考える。 ○日本に関わる領土をめぐる問題発生の背景が国益の衝突にあることをふまえ，問題を平和的に解決するための方法について考える。	a:地軸の傾きや自転・公転による影響、地図にはさまざまな種類が存在すること、地球上における日本の位置と領域について理解している。 b:地球上の様々な国や地域に存在する時差が我々にどのような影響を与えるか考察している。地球を正確に表現できない平面の地図について、どの用途にどの地図を用いるべきか考察している。 c:時差による影響に対し、どのような工夫ができるか追究している。 c:日本の領土をめぐる問題の解決策について、主体的に考えている。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	地図や地理情報システムの役割	○さまざまな種類・表現の地図を取り上げ，その役割について考えます。 ○地形図を用いて土地利用，距離，面積など基礎的事項について読み取る。 ○主題図の読み取りを通じて地理的事象の分布の特性を把握する。 ○異なる主題図を比較することで，空間的規則性を見いだす。 ○地理情報システム（GIS）の活用例を確認します。 ○今昔マップ on the web を操作することで，地理情報システムの特徴を把握する。	a：多様な地図や地形図が生活を便利にしていることを理解している。 a：主題図にはさまざまな表現方法があることを理解している。 a：地理情報システム（GIS）が幅広い分野で使われていることについて理解している。 a：交通手段の多様性とその長所・短所について理解している。 b:多様な地図や地形図・主題図を、用途に応じてどのように使い分けるのか考察している c:地図利用で考えられるさまざまな可能性について追究している。 c:GIS が与える私たちの生活への影響について追及している。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート
	資料から読み取る現代世界	○流線図の作成や統計の読み取りを通じて，グローバルな結び付きの変化や，各種交通手段の特徴について考察する。 ○情報通信技術（ICT）の普及状況の推移や地域的な傾向を読み取り，情報通信技術の普及にともなう利点と課題を考察する。 ○主題図や統計資料を読み取り，国際移動の現況や産業構造・国家間の関係の変化を考察する。 ○グローバル化の具体的な事象を通して，利点と課題を考察する。	a:交通手段や通信情報技術（ICT）などの発達について理解している。 a:国家間のさまざまな結び付きとその役割について理解している。 b:国境をこえる人々がどのような理由で移動するかを考察している。 b:通信網の発達による生活の変化と生じた課題について考察している。 c:多極化する世界の変化に対応するための方法を追及している。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート
２学期	人々の生活文化の多様性と国際理解	○写真や具体例を用いて，各地域に暮らす人々の文化や宗教とその多様性について理解する。 ○写真や地図を用いて，自然がつくる様々な地形や地域による気候の多様性について理解し、それに対応する人々の生活の様子を把握する。 ○雨温図を読み取り，気候区ごとの特徴を理解する。 ○写真や図を用いて，さまざまな工業・商業の特徴を把握します。 ○写真や図を用いて，情報技術がさまざまな産業の情報化に寄与していることを把握する。	a:地域によって文化が異なる理由について理解する。 a:文化は持続することもある一方で，変容することもあることを理解する。 a:世界の宗教の分布について知り、宗教ごとに特徴的な生活習慣や規範があることを理解する a:さまざまな自然地形における人々の暮らしの工夫について理解する。 a:各気候区における気温・降水量，風などの気候要素の特徴について理解する。 a:現代における様々な工業・商業の特徴について理解する。 b:気温や降水量に地域差が生じる原因を理解し，それらが衣食住に与える影響を考察している。 b:通信産業の発展による世界の変化，産業の情報化について考察している。 c:情報化社会における生き方・働き方について追究している。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	さまざまな地球的課題と国際協力	○主題図や統計を用いて地球環境問題の現状について視覚的にとらえ、その背景・要因とそれがもたらす問題について考察する。 ○エネルギー消費の南北格差の現状とその背景について考察する。 ○地球社会の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策について考察する。 ○世界の人口分布と人口増加の特徴を把握し，その背景について考察する。 ○人口ピラミッドの作成や統計の読み取りを通じて，先進国の抱える人口問題と対策について考察する。 ○世界の食料増産・供給の地域差を認識し，食料問題の存在を把握する。 ○食の安全に関する問題について，身近な食品を例に考察する。 ○都市問題発生の要因を，都市化の過程との関わりから考察する。 ○難民が発生する地域と難民を受け入れる地域の地理的関係を考察する。 ○民族問題の歴史的背景について，具体的な事例をあげて考察する。 ○地球的課題の解決へ向けてのさまざまな国際的取り組みと課題を学ぶ。 ○持続可能な社会の実現へ向けての世界各地での取り組みの事例について考察する。	a:エネルギー資源の種類と、新興国のエネルギー需要が増加していることを理解している。 a:18 世紀後半以降から現在にかけての世界の人口推移とその背景を理解している。 a:先進国において少子高齢化が進む背景とその影響について理解している。 a:食の安全に関する問題について知り，その対策について理解している。 a:先進国・発展途上国で進む都市環境の変化と人々の暮らしについて理解している。 a:ヨーロッパで起こった難民危機を手がかりに，難民と民族問題について理解している。 b:様々な環境問題について、解決に向けた取り組みを考察している。 b:再生可能エネルギーへの関心が高まる一方で、再生可能エネルギーの割合が拡大しない要因を考察している。 b:発展途上国が抱える人口問題の要因・影響を考察している。 b:少子高齢化対策として先進国で行われている取り組みを理解し，その成果や課題を考考察している。 b:難民が発生する原因や，民族問題の背景について考察している。 c:現在も世界中で様々な課題があること知り，持続可能な社会づくりのための解決法を探求している。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	自然環境と防災	○日本の地形の特性と人々の生活との関係性について，主題図や衛星画像などを用いて考察する。 ○日本列島の季節ごとの天候の変化の要因について、主題図や雨温図の読み取りを通して考察する。 ○日本列島の気候の特性と自然災害との関係性について考察する。 ○地震や津波の発生メカニズムについて知り、それによってもたらされる被害の状況について，考察する。 ○自宅もしくは学校周辺地域のハザードマップを用いながら災害時に取るべき避難行動について考察する。 ○火山災害のメカニズムについて知り、火山災害がもたらす人命に及ぼす被害について考察する。 ○季節ごとに生じる気象災害の原因について知り、被害の状況や人々の生活に与える影響を考察する。 ○都市における各種災害の発生要因や、それがもたらす被害の状況について，写真や地理院地図を用いて多面的に考察する。 ○防災・減災へ向けた公助の取り組みには限界があり，自助・共助の観点から意識を高める必要性があることを，さまざまな取り組みを概観することで考察する。	a：日本の地形の特徴について知り、どのような影響を与えているかを理解している。 a：日本の春夏秋冬それぞれの季節を特徴づける天候・気候の要因を理解している。 a：プレート境界地震とプレート内地震の違いについて理解している。 a：震源の位置や土地の条件によって，引き起こされる被害に違いがあることを理解している。 a：過去の災害の記録が今後の災害の軽減につながり得ることを理解している。 a：火山活動にともなう災害の種類を知り、日本列島において火山活動が活発な理由を理解している。 a：季節によって発生し　やすい気象災害とその特徴について理解している。 b：ハザードマップを利用し，身近な地域の自然災害の可能性について考察している。 b：季節によって発生しやすい気象災害の要因・影響について考察している。 b：土砂災害の発生のメカニズムを理解し，どのような場所が被害を受けやすいかを考察している。 b:都市型災害にはどのようなものがあるかを知り、都市型災害の要因・影響を考え，都市型災害が発生した際にどのような行動をとるべきかを考察している。 c：これまでの災害の教訓を生かし，特に，自助・共助に関して，どのような対策を講じていくべきかを探求している。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート	小テスト 授業内取組 定期考査 ワークシート	資料活用 授業内取組 振り返りシート
	生活圏の調査と地域の展望	○学校周辺など、身近な地域における新旧の地形図や統計を用いて地域の変容について考察する。 ○身近な地域の調査に必要な資料収集の方法について知り、野外調査についての複数の方法とその手順について理解する。 ○身近な地域における調査で得た結果を分析する視点とまとめる方法について理解する。 ○身近な地域における調査で明らかとなった地域の抱える課題をふまえ，持続可能な地域社会のあり方とその実現に向けた社会参画の意義について認識する。	a：身近な地域の変遷を新旧地形図の読み取りなどから理解している。 a：身近な地域の情報を得るためのさまざまな手段と注意点を理解している。 b:身近な地域で生じている課題の要因をさまざまな角度から分析・仮説の設定を行い、考察している。 b:野外調査の目的に応じた方法を理解している。 c：調査結果から、身近な地域の課題を明確にし、解決に向けて取り組むべきことを探求している。	授業内取組 定期考査 発問評価 ワークシート 小テスト	授業内取組 定期考査 ワークシート 資料活用	授業内取組 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度